

5. 伸縮装置の目指すべき事項

①経済性の向上

・より安く、より耐久力の高いジョイントが求められる。また、橋梁にかかる車両通行の衝撃を緩和し、橋梁長寿命化を図る必要がある。

②振動・騒音の抑制

・ドライバーに対して、ジョイントと舗装との段差走行による不快感(振動、騒音)を抑えることが重要である。また、雨天時における二輪車のスリップ事故の原因ともなる。

③周辺住民への静寂性の確保

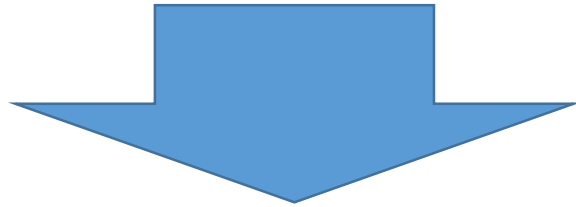
・周辺住民のことを配慮し、車両が通過するとき生じる騒音、振動は極力抑える必要がある。

④伸縮装置からの漏水の防止

・橋梁はコンクリートと鋼製で形成されるので、漏水は橋梁が劣化する原因の一つである。そのため防水性が必要である。

⑤耐震性の向上

・大きな地震が発生した際に、ジョイントが破損してしまい、車両が通行できなくなってしまう場合がある。即座に交通を復旧させるために、耐震性が高く復旧が容易な伸縮装置が必要である。



上記のような伸縮装置の問題点から、**経済性、走行性、静寂性、防水性、耐震性に優れた**ジョイントが求められる。しかしながら今までの埋設型ジョイントの問題点として、施工箇所によっては耐久性が乏しく**わだち掘れ**が発生したり、硬化して伸縮に追従できなくなり、**ひび割れ**が発生してしまう不具合発生があり、現状では埋設型ジョイントの普及が進んでいなかった。そのため、わだち、ひび割れ等の不具合を抑制した**MMジョイントDS型**の**開発**を行った。



アバットへ漏水している
コンクリートの劣化に繋がる



漏水による沓座の腐食